

丹波篠山市地域公共交通会議 令和5年度収支決算報告

歳入	5,500,012
歳出	5,460,045
次年度繰越	39,967

歳入

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	比較	内訳
1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,000,000	3,000,000	0	丹波篠山市
2 補助金	1 補助金	1 補助金	2,500,000	2,500,000	0	令和5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(国土交通省)
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	0	12	12	預金利子
合計			5,500,000	5,500,012	12	

歳出

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	比較	内訳
1 事務費	1 事務費	1 事務費	0	0	0	
2 事業費	1 事業費	1 事業費	5,500,000	5,460,045	▲ 39,955	地域公共交通計画策定業務5,445,000 路線バス体験乗車会14,000 振込手数料1,045
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0	
合計			5,500,000	5,460,045	▲ 39,955	

会計監査報告

令和6年4月25日に令和5年度丹波篠山市地域公共交通会議収支決算につきまして、収入・支出決定書並びに関係帳簿を監査したところ、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和6年4月25日

監査員

田中 浩



酒井 裕美



丹波篠山市地域公共交通会議 令和5年度事業報告

1. 地域公共交通計画の策定

(1) 策定経緯

新型コロナウイルス感染症の蔓延、テレワークの普及等による人々の生活スタイルの変化などによって公共交通の利用は大きく減少しました。

また、令和6年からの働き方改革関連法案の施行による運転手不足への懸念など、地域公共交通を取り巻く環境はより一層厳しくなることが想定されています。

こうした背景の下、市民、交通事業者、行政が連携し、持続的で効率的かつ効果的な地域公共交通サービスの提供を目指すため「地域公共交通のマスタープラン」として、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)」に基づき、「丹波篠山市地域公共交通計画」(以下、「本計画」という。)を策定することとしました。

(2) 経過

本計画の策定にあたっては、地域公共交通会議及びその専門部会として通勤・通学、観光、高齢者等部会の3つの部会を設け協議を重ねました。

開催年月	部会	内容
令和5年5月	通勤・通学 観光	公共交通の現状を考えるワークショップ
令和5年7月	高齢者等	公共交通の理想像、課題を考える
令和5年8月	高齢者等	デマンド交通について
令和5年9月	通勤・通学	学生の通学利用について
令和5年9月	観光	観光ハイシーズンの渋滞対策について
令和5年10月	高齢者等	乗車体験会について グリーンスローモビリティ「meGREEN(めぐりーん)」の 平日活用について
令和5年10月	通勤・通学	高校生との意見交換
令和5年12月	幹事会	計画素案について
令和6年1～2月	パブリックコメント	意見提出者4人 項目数18項目
令和6年3月		計画策定

(3) 計画期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間

2. 事業報告

(1) 丹波篠山市地域公共交通会議策定支援業務

本計画の策定にあたり、市内公共交通の状況調査や分析等の計画策定支援をコンサルティング会社に委託しました。

受託者：中央復建コンサルタンツ 神戸支社

事業費：5,445,000円(受託者への委託料)

委託業務内容：①地域公共交通に関する現状整理

- ②地域公共交通を取り巻く課題整理
- ③地域公共交通計画の基本方針、目標、数値指標の検討
- ④目標達成に向けた施策、事業メニューの検討
- ⑤地域公共交通計画の作成
- ⑥地域公共交通会議の資料作成
- ⑦報告書の作成
- ⑧打合せ協議の実施

(2) バス乗車体験会

「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていくための取り組み。(いわゆるモビリティ・マネジメント)
 バス路線や地域で運行する自家用有償運送の維持に向けた利用増進、ウイング神姫のニコパカードを活用した上限運賃制度の周知を目的として路線バスの乗車体験会を実施しました。

対象地区：西紀北地区（ウイング神姫 篠山口駅～草山温泉線）

内 容：バスの乗り方講習、乗車体験、アンケート

参加者：8名（60代2名、70代6名）

事業費：14,000円（参加特典として2,000円分のニコパカードを配布）

3. その他（公共交通に市の関する取り組み）

(1) 路線バス運行補助

地域住民の生活にとって重要な交通手段である路線バスに対して補助をすることで、バス路線網の充実と福祉の向上を図る。

補助総額：

ウイング神姫 34,558,000円

京阪京都交通 3,161,000円

補助対象路線：ウイング神姫 14路線、京阪京都交通 1路線

ウ 篠山口～西紀支所～草山温泉線 30,736人

ウ 篠山口～国道古市～藍本駅線 10,273人

ウ 篠山営業所～真南条～市原線 16,274人

ウ 相野駅～東立杭・陶芸美術館～こんだ薬師温泉線 2,137人

ウ 相野駅～藍小学校・釜屋～陶芸美術館線 2,817人

ウ 相野駅～藍小学校・美山台・間新田～清水寺線 3,537人

ウ 相野駅～藍小学校・陶芸美術館・間新田～清水寺線 11,342人

ウ 相野駅～藍小学校・美山台・間新田～清水線 2,966人

ウ 相野駅～藍小学校・陶芸美術館・間新田～清水線 712人

ウ 相野駅～藍小学校・陶芸美術館・こんだ薬師温泉～清水線 499人

ウ 篠山警察署前～篠山東中学校線 57人

ウ 柏原駅～鳳鳴高校～篠山営業所線 2,552人

ウ 篠山口駅～住吉台・杉～篠山口駅東口線 1,763人

ウ 篠山口駅～杉・住吉台～篠山口駅 2,342人

京 園部駅西口～天引～福住線 7,846人

(2) コミュニティバス運行補助

路線バスではカバーできないエリアの地域住民の交通手段を確保を目的に運行するコミュニティバスに対して補助することで、コミュニティバスの円滑な運行を図る。

補助総額：

ウイング神姫 28,226,000 円

補助対象路線：

A ルート（荒子新田～篠山口駅～ささやま医療センター） 2,546 人

B ルート（丹波細工所～丹波篠山市役所） 624 人

C ルート（黒石上～草野駅～丹波篠山市役所～杉） 1,887 人

(3) 火打岩線乗合タクシー運行補助

補助総額：

日本交通 2,239,860 円

補助対象路線：

火打岩線 676 人

(4) 上限運賃制事業補助

公共交通の利便性向上を目的に上限運賃制を導入し運行する交通事業者に対し正規運賃との差額分を補填する。ウイング神姫路線は、ニコパカードでの支払で最高 200 円で乗車可能。

路線バス：21,256,950 円

コミュニティバス：639,250 円

乗合タクシー：147,400 円

(5) バス路線活性化支援助成事業

京阪京都交通の運行する園篠線の活性化を目的に、同路線で利用可能なバス回数券の購入費用の一部を補助

補助総額：38,000 円

補助人数：19 人

(6) 公共交通ドライバー確保奨励金

地域公共交通に関わる人材確保と地域公共交通サービスの維持を目的に市内のバス、タクシーのドライバーとして採用された者に対して奨励金（バス 15 万、タクシー 10 万）を交付。

補助総額：200,000 円

補助人数：2 名

(7) 自家用有償旅客運送事業

公共交通不便地域において、地域住民の移動手段確保のため、道路運送法第 79 条の自家用旅客有償運送（公共交通空白地有償運送）を実施。

大芋地区：委託料 1,956,995 円、輸送人員 972 人

村雲地区：委託料 393,279 円、輸送人員 38 人

後川地区：委託料 600,092 円、輸送人員 186 人

西紀中地区：委託料 733,558 円、輸送人員 592 人

西紀北地区：委託料 876,074 円、輸送人員 483 人

5 地区合計：委託料：4,559,998 円、輸送人員 2,271 人

(8) 公共交通情報ガイドの作成

交通機関利用者や市民の公共交通に対する利便性の向上や利用促進を図るため、市内の交通情報をまとめた公共交通情報ガイドを作成し、全戸に配布。

作成部数：18,600部

作成費用：634,260円

(9) ニコパカード配布事業

高校進学後の通学でのバス利用機会の創出等に向けて神姫バスの発行するICカード乗車券ニコパカードを市内中学校に通う中学3年生を対象に配布。

対象者数：266人

事業費：532,000円